

E 菊川茶を未来につなげる EU欧州連合農業・食料担当委員とビジネス使節団が視察



1有機栽培を行う岩沢園の茶園を視察 2循環型農業について説明を受け、ポニーと触れ合うハンセン委員 3 4市長がハンセン委員と深蒸し菊川茶の海外展開について意見交換

6月11日、日本の農林水産大臣に相当する、EU欧州連合のクリストフ・ハンセン欧州委員会農業・食料担当委員とビジネス使節団が、「G I 深蒸し菊川茶」や「茶草場農法」の理解と地域課題の把握を目的に、菊川市に來訪しました。

長谷川寛彦市長との面会后、市内で有機栽培を行っている岩沢園を訪れ、G I 登録されている「深蒸し菊川茶」と世界農業遺産である「茶草場農法」を視察しました。また、同園で飼育しているポニーによる循環型農業についても説明を受け、菊川市の魅力を体感していただきました。

深蒸し菊川茶を試飲したハンセン委員からは「柔らかい苦みがあり、リフレッシュできる」と講評いただき、「伝統を重んじ、次世代に繋げていくための持続可能な農業を続けてほしい」と大変ありがたいお言葉をいただきました。

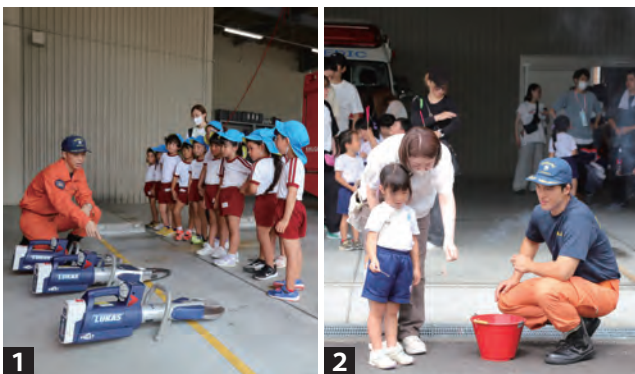
視察の様子は、市公式インスタグラムのリール動画(右記)から見ることができます。ぜひご覧ください▶



消 地域の安全を守る 防署で施設見学&花火教室

6月20日、ひがしこども園の年長児30人が消防署内や消防車両を見学。実際に救急車の中に入ったり、消防士の防火衣の早着替えを見たりと、普段見ることのできない「消防の仕事」を見学しました。

6月23日には、双葉こども園の年長児と保護者30組が、市消防職員から火の安全な使い方を学びました。園児は、火遊びの危険性がわかるDVDを鑑賞後、衣服に火が付いたことを想定して火を消す動作や花火に火を付けて安全な遊び方を学びました。



1消防署員の説明に真剣に耳を傾ける園児たち 2保護者と一緒に安全な花火の遊び方を学ぶ

水 令和7年度菊川市水防訓練 防活動に活かす土のう作り

6月1日、菊川市下内田地区河川防災ステーションで開催。出水期に備え水防技術の向上や水防体制の強化を図ることを目的に、水防団や自主防災会などからおよそ300人が訓練に参加しました。昨年度に引き続き、陸上自衛隊が土のう作りのポイントを指導。「土のうこしらえ工」や「積み土のう工」など、堤防からの越水を未然に防ぐ技術を学びました。風水害が心配される時期を迎え、参加者は緊張感をもって訓練に取り組みました。



1自衛隊より土のう作りをレクチャー 2叩いてより強固な土のうを積み上げていく